

議会ガイド



令和4年7月13日(水)に、青森県町村議会議長会主催による県下町村議会議員研修会が開催されました。研修会では政治ジャーナリストの田崎史郎氏を講師に招き、「今後の政局・政治展望」と題した講演がされました。政治ジャーナリストを長く務めている田崎氏の視点の政治などの話に、参加者たちは聞き入っていました。

第2回定例会 (令和4年6月)

目次	■ 第1回定例会	2~3
	■ 一般質問	4~6
	■ 活動報告だより	7
	■ 委員会だより	8
	■ 議会の動き	10

米塚鈴子教育長が勇退し 鈴木信也氏が新教育長に

6月 定例会

人事案件

■中泊町教育委員会教育長の任命について

米塚鈴子教育長の辞職に伴い、鈴木信也氏を後任の教育長として任命するにあたって、議会の同意を求めるもの。

任期…令和4年6月13日から令和5年6月12日まで

〈会期日程〉

- 6月6日
開会・町長提案理由説明
- 6月7日～6月8日
休会・議案熟考
- 6月9日
一般質問
- 6月10日
単行案審議・閉会

補正予算

(千円)

会計	補正額	補正後総額
R3 一般会計補正予算 第16～17号	合計 3億1,058万7千円	119億5,767万5千円
R4 一般会計補正予算 第1～2号	合計 1億8,052万8千円	83億8,252万8千円
R4 国民健康保険 特別会計補正予算第1号	(事業勘定) 55万2千円	(事業勘定) 1,431万9千円
	(施設勘定) 42万5千円	(施設勘定) 5,332万2千円

主な補正予算

高等学校通学助成金

町内に高校がなくなったため、公共交通機関を使って通学する生徒の通学費を助成

978万円

コンビニ交付 サービス導入事業

コンビニに設置のコピー機等で各種証明書が取得できるようにする事業

2,621万3千円

食の学生支援事業

県内外の大学生等へ町特産品などを送付し、SNSに掲載した人のうち上位へカタログギフト送付

240万円

キャッシュレス決済 端末導入支援金

キャッシュレス決済のためのレジ等の端末導入支援金等

1,743万2千円

令和4年第2回定例会が6月6日に開会しました。
6月9日には一般質問が行われ、3人の議員が質問しました。
6月10日には、議案の審議が行われ、報告7件、補正予算や条例改正、人事案件などの議案6件、議会提出案件1件の議案の全てが原案のとおり可決、承認、同意されました。

条例など

■中泊町税条例条例等の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

■中泊町地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について

地域再生法に係る省令の一部改正に伴い、条文の整備をするもの。

■中泊町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について

半島振興法に係る省令の一部改正に伴い、条文の整備をするもの。

■中泊町産業振興促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について

過疎地域の持続的発展の支援移管する特別措置法に係る省令の一部改正に伴い、条文の整備をするもの

■中泊町国民健康保険税条例の一部改正について

地方税法施行令の一部改正と資産割額の廃止に伴い、条例の一部を改正するもの。

■中泊町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正について

児童扶養手当施行令の一部改正に伴い、目の障害の認定基準が改められ、また条文を整備するため、条例の一部を改正するもの

その他の案件

■損害賠償の額の決定について

地方自治法の規定により報告するもの

■令和3年度中泊町一般会計継続費繰越計算書について

令和3年度一般会計予算のうち、年度内に支出が終わらなかったものについて継続費繰越計算書を調整したため、報告するもの

■令和3年度中泊町一般会計繰越明許費繰越計算書について

令和3年度一般会計予算のうち、年度内に事業の完了ができなかったものについて繰越明許費繰越計算書を調整したため、報告するもの

■令和3年度中泊町介護保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

令和3年度一般会計予算のうち、年度内に事業の完了ができなかったものについて繰越明許費繰越計算書を調整したため、報告するもの

議会提出案件

■陳情第4号 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出をもとめる陳情

総務文教常任委員会へ審査を付託するもの

子育て支援策の 拡充はしないのか 町道の整備計画はどうか



荒関 富雄 議員

議員

当町は、子育て支援策として、保育料や医療費の無償化を他に先駆けて実施してきたが、令和2年度に時限的に実施した学校給食費の無償化は、恒久化の検討はないのか。

町長

新型コロナウイルス感染症拡大により、各自自治体では様々な支援策が講じられ、当町でも、町民の経済的負担を緩和するための対策の一環として、児童・生徒の保護者に対して給食費負担を軽減し、教育の充実に寄与すると同時に、子育てを支援するための緊急的な措置として、令和2年度限りで無償化を実施したところである。

学校給食は、法令等に基づき、給食に必要な施設、設備、運営に要する費用は学校設置者が負担をし、食料費は保護者負担を原則に対応しているもので、受益者負担の観点から法律の規定に基づき給食費の負担をお願いしている。また、経済的理由により負担が厳しい保護者に対しては、既に就学援助制度により町が全



学校給食

額負担している。

全ての児童生徒の給食費無償化は、一義的には国が検討するものであると考えている。当町では、栄養基準に基づき、中泊町産や青森県産の食料を可能な限り使用し、安全でおいしい学校給食を提供することに努めている。また、食育指導にも力を入れ、「食べ物を大切にし、感謝の心を持って食事ができる子ども育成」にも取り組んでいる。自分の子供は自分で育てるといふ親の意識啓発を図ることもまた重要であると考

え、現時点では町として恒久的無償化の検討には至っていない。

議員

例年、春になると荒れた路面が目立っているが、町道の整備は、舗装の打ち替えなどの計画を策定して実施しているのか。

町長

町道の管理補修等は、中里地区に分け、軽微な補修を中心に幹線道路、生活道路の区分なく実施しているが、不便をお掛けしている所や行き届いていない所がある事は認識している。

長期総合計画に基づいて町の道路の整備計画の策定を進めているが、幹線道路を中心とした計画となっているため、生活路線の中には含まれていない路線もある。今後は再調査を行い、生活路線を含めて計画を見直し、優先順位を付しながら進める。



塚本 悦子 議員

脱炭素社会に向けて 町の現状認識と 取り組み姿勢を伺う

議員

パリ協定を発端に、国では2050年までにカーボンニュートラルを表明したが、脱炭素社会の取り組み加速は自治体にも求められている。町の現状認識と取り組み姿勢を伺う。

町長

近年国際的に脱炭素社会の実現に向け、大きく動き出している。国では、2020年10月に2050年までには温室効果ガス排出量を全体としてゼロにする、すなわちカーボンニュートラルの実現を宣言し、2030年度の温室効果ガスの削減目標を2013年度比で46%削減すると公表した。

また、青森県が作成した「青森県地球温暖化対策推進計画」では、県内の温室効果ガス排出量を2030年度までに2013年度比で31%削減することを目標に掲げている。

そこで当町では、環境負荷を低減した循環型社会の形成及び持続可能なまちづくりのために、温室効果ガス排出量の削減を目指す「中泊町地球温暖化対策実行計画（区域施策

編）」の策定に取り組んでいる。

施策としては、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの促進、公共交通機関の利用者の利便の増進、緑化の推進、廃棄物の発生抑制による循環型社会の形成について細かく定め、当町の経済、社会、環境が抱える問題の解決を念頭におき、地域の枠組みはもちろんのこと、より広い範囲での連携や協力のもとで取り組みを推進して参りたいというふうに考えている。

また、区域施策編と併行して町の事務及び事業においても、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を併せて推進し、温室効果ガス排出量の削減等のための措置「中泊町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」も今年度中には策定するよう進めている。

区域施策編の実行計画については、地域住民及び事業者の方々にしっかりとご説明し、ご理解を頂くことで、同じ将来像を共有しながら、町一丸となって脱炭素社会の実現を目指していきたいと考えている。

【パリ協定】

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015年にパリ協定が採択され、世界共通の長期目標として、世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること、今世紀広範囲温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成すること等を合意した。

(出典：環境省HP 脱炭素ポータル)



用語解説

県内トップの取得率！ マイナンバーカードを 使った町の施策を伺う



今 博子 議員

議員

県内トップの取得率となったマイナンバーカードは、取得による行政手続き簡素化と暮らしの利便性向上への期待があるが、町としての利活用の方針などはあるか伺う。

町長

今後の町としての利活用の方針は、マイナンバーカードを取得したことにより、暮らしが便利に変わった、取得して良かったと町民の皆様に実感して貰える取組を実施していくことが必要であり、今後の人口減少社会を見据えた上でデジタル技術を活用しながら、いかに行政サービスの質を落とすことなく、より便利な暮らし方を作り、持続可能で住み続けられる町の在り方を示していくかが、交付率県内トップとなった我が町に課せられた責務なのではないかとも考えている。

現在は、役場窓口において各種証明書等を取得する際の、窓口業務の簡素化を計画している。

各種証明書を取得する際には、申請書に必要な項目を手書きで記載し、

申請を行うが、マイナンバーカードを利用することで、書かなくても簡単に各種証明書を発行できるシステム作りを県にも相談しながら、その実現に向け現在作業を進めている。

また、そもそも役場に来なくてもコンビニエンスストア等で各種証明書の交付を受けられる体制を整備すること。マイナンバーカードを利用することで、これからは、全国のコンビニエンスストア等にて住民票や印鑑登録証明書など各種証明書の交付を受けられるようになり、土日など、役場が開庁していない時間でも取得できるようになる。

マイナンバーカードは健康保険証としても利用できるが、利用するためには医療機関側がマイナンバーカードの読み取りに対応したシステムの導入が必要がある。現在、町内の対応医療機関は小泊診療所のみのため、対応設備導入推進のため、導入に係る経費の一部を補助する事業を実施する。

国が実施の最大2万円相当のマイナンバーを受け取ることができる

事業については、町民の皆さんが漏れなくマイナポイントを受け取れるよう、マイナポイント申込の支援窓口の設置や、町内の店舗でもマイナポイントを使えるよう、事業者に対してキャッシュレス決済を普及促進するための事業を展開している。

マイナンバーカードは運転免許証と統一化されるなど、今後、多くの役割を担っていくものと考えている。マイナンバーカードの利活用に関する取組はここまでやったから終わりというものでなく、町民の暮らしを便利にするためにはどうすれば良いかを考え、時代やニーズに合わせながら常に取組も変化し続ける必要があるものと考えている。

今後もマイナンバーカードやデジタル技術を活用しながら、人口減少下においても、みんながますます暮らしが出来るよう、便利に変わっていく中泊町を実践し続けて参りたいと考えている。

委員会だより

議会運営委員会 (委員長 秋元 隆)

○令和4年5月9日(月)
第3回議会運営委員会

〈案 件〉

- (1) 令和4年第2回中泊町議会定例会会期日程及び議会運営に関する事項について
- (2) その他



議会運営委員会の様子

○令和4年5月30日(月)
第4回議会運営委員会

〈案 件〉

- (1) 一般質問について
- (2) 提出議案について
- (3) その他

広報委員会 (委員長 成田 直人)



広報委員会の様子

○令和4年4月21日(木)
第2回広報委員会

〈案 件〉

- (1) 議会ガイド第68号(案)について
- (2) その他

総合福祉健康センター建設工事安全祈願祭

(仮称)中泊町総合福祉健康センター建設工事の着工にあたり、5月11日(水)に同センター建設地(旧営林署跡地)で建設業者主催による安全祈願祭が行われました。

安全祈願祭では議会を代表し議長が玉串を捧げ、建設工事の安全を祈願しました。



北部中央消防署の落成式



五所川原地区消防事務組合の北部中央消防署が落成となり、式典が5月20日(金)に同署で行われ、議会を代表して議長が出席しました。

落成式後には、職員が施設を活用した山岳救助訓練を想定した様子などが出席者らに披露されました。

東京で町村議会議長・副議長研修会

全国町村議会議長会主催による令和4年度町村議会議長・副議長研修会が5月30日(月)に東京国際フォーラム(東京都)で開催され、当町議会からは副議長が出席しました。

研修会には約1600人が参加し、3つのテーマに関して講演が行われました。



津軽圏域市町村議会議長懇談会の設立総会

津軽圏域14市町村の議会議長らによって構成される津軽圏域市町村議会議長懇談会の設立総会が6月29日(水)、弘前市中央公民館相馬館で行われ、当町議会からは議長が出席しました。

この会では、単独の議会だけでは対応がしにくい課題に圏域で調査研究などに取り組み、広域連携の支援を目指します。

会長には弘前市議会議長が、副会長には黒石市議会議長と鱒ヶ沢町議会議長が就任しました。



常任委員会合同視察研修・国会議員への要請活動



二常任委員会合同視察研修及び県選出国會議員等への要請活動が6月14日(火)から行われ、同日には衆・参議院会館などを訪れて両院の議員へ要望書を手渡しました。

この要望書は、持続可能なまちづくりのために「本県沖日本海における洋上風力発電の推進について」と「農地中間管理機構関連農地整備事業と一体的に実施する水路等の付帯施設整備の拡充について」の2つが盛り込まれています。

町村議会広報の研修会が開かれる

県町村議会議長会主催の町村議会広報研修会が5月25日(水)、青森県労働福祉会館で行われ、成田広報委員長と今広報副委員長が出席しました。

研修会では、議会広報サポーターの芳野政明氏を講師に招き、議会広報の編集方法などについて講演が行われました。また、講演後の町村議会広報クリニックでは本紙議会ガイドも取り上げられ、よりよい広報紙づくりに向けた助言などがありました。



4月

2日 ことまり学園落成式
21日 第2回広報委員会

9日 中泊町議会議会運営委員会

国道339号整備促進期成同盟会監査会

11日 (仮称)中泊町総合福祉健康センター

安全祈願祭

12日 中泊町緑化推進委員会

17日 西北津軽郡町議会議長会定期総会

国民健康保険運営協議会

18日 十三湖二期地区土地改良事業促進協議会

なごまりまつり第1回実行委員会

20日 五所川原地区消防事務組合

北部中央消防署落成式

五所川原地区消防事務組合議会臨時会

25日 町議会広報研修会

中泊町商工会通常総代会

30日 中泊町議会議会運営委員会

全国議長・副議長研修会

6日 第2回定例会(開会)

9日 第2回定例会(一般質問)

10日 第2回定例会(閉会)

14日 二常任委員会合同視察研修

及び県選出国会議員等への要請活動

22日 中泊町管工事業協会総会

29日 中泊町社会福祉協議会定時評議員会

津軽圏城市町村議会議長会懇談会設立総会

傍聴席は、あなたの席です!!

令和4年第3回中泊町議会定例会は9月上旬予定です。会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。皆さんの傍聴をお待ちしております。

令和4年第2回定例会の傍聴は8名でした。

※耳が不自由な方にはイヤホンをお貸しします。遠慮なくお申し出ください。

※議場は車椅子での入場が可能で、専用の傍聴スペースがあります。

議会中継は初日から最終日までインターネット配信しています。

インターネットの視聴は

<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

でご覧になれます。



←コチラからも
アクセス
できます

役場・パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館ロビーにも中継されています。ぜひ、ご利用ください。

また、議会会議録もHPで閲覧できます。平成31年第1回中泊町議会定例会より会議録が掲載されています。閲覧の方法は、中泊町役場ホームページ → 議会 → 会議録 となります。

編集後記

▼普通の暮らしに欠かれない物品やサービスが原油価格、原材料費、物流費の高騰を受けて相次いでの上値上げラッシュだ。ガソリン・食料品等の日用品や建設資材、更には運輸・公共料金等と幅広い分野に波及し、景気後退で年金・給料が低いのに物価高が進み、家計の遣り繰りが一段と厳しさを増す。

▼物価高で注目されるのは主食の米(コメ)である。コメと対照の小麦は、円安や穀倉地帯での不作によって高騰し続けているため、麺類・パン類等が次々値上げだ。こうした事情から、コメは物価の優等生になりつつある。

▼政府は、小麦粉の代替としてコメ食普及や米粉の利活用を推奨。外食専門店では麺類から定食へと流れ、家庭では三食コメ主体のメニューに様変わり気配。期待と願望ではあるものの、「主食米、復活! 米価回復」の見出しを目にする日が遠くではない気がする。

〈委員長・成田直人〉